

## 日本学生支援機構

## 2023年度 貸与奨学生のしおり

(ダイジェスト版)

この冊子(ダイジェスト版)では、貸与奨学生として採用された後に必要な手続きや返還誓約書の書き方等について特化して説明しています。

より詳細な内容については、日本学生支援機構のホームページに掲載されている「2023年度貸与奨学生のしおり」(全体版)を確認してください。



<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/siori/index.html>

## はじめに

みなさんは、日本学生支援機構の貸与奨学生として採用されました。

日本学生支援機構の貸与奨学金は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生等に貸与されるものです。

みなさんは、その奨学金の貸与を受ける資格があると認められました。その誇りと自信を持って、勉学に励み、それぞれの描いた未来や夢に向かって、その第一歩を踏み出してください。

## 貸与奨学金制度

日本学生支援機構の第一種奨学金及び第二種奨学金は借入金(貸与奨学金)です。卒業後は必ず返還する義務があります。

この奨学金制度は、先輩が返還した奨学金を後輩の奨学金として直ちに利用する仕組みとなっています。

奨学生ひとりひとりが、責任を持って返還することで、奨学金制度が成り立っていることを忘れないでください。

## 貸与奨学生としての心構え

(貸与奨学生のしおり(全体版)4ページ)

1. 奨学金制度について、十分に理解してください。
2. 学校から奨学金の説明を受け、貸与中の手続きなど、学校の指示を守ってください。
3. 奨学生としての自覚と責任を持って勉学に励んでください。

## 注意事項

(貸与奨学生のしおり(全体版)5ページ、併給調整は92ページ)

## ■提出期限を守る

学校が期限を定めて書類の提出や入力等の手続きを求めることがあります。

特に「返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)」(以下、「返還誓約書」といいます)は、必ず期限までに添付書類とともに提出してください。期限までに提出がない場合は、貸与奨学生としての採用が取消になり、振り込まれた奨学金を全額返金しなくてはなりません。

## ■借り過ぎに注意

奨学生として採用された後、「返還誓約書」で借用金額等を確認してください。

また、家庭の経済状況や卒業後の返還額を十分に考慮し、適切な貸与月額に見直してください。

## ■第一種奨学金と給付奨学金を併せて利用するとき

第一種奨学金と給付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が自動的に調整(減額又は増額)され、これを併給調整といいます。調整後の貸与月額は「給付奨学金を併せて利用している時の第一種奨学金の貸与月額」で確認してください。

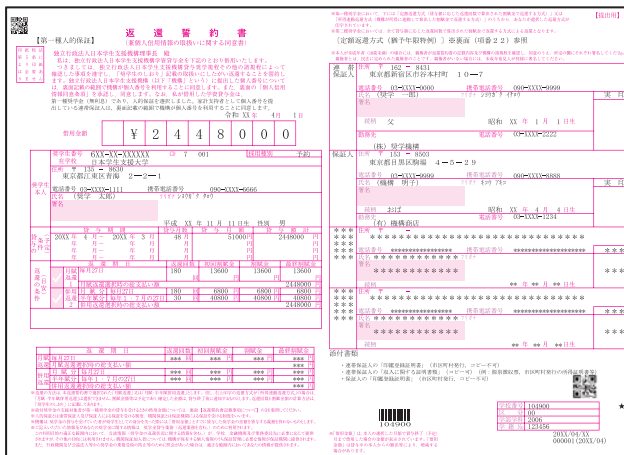
貸与奨学生のしおりにて特に重要な項目をピックアップしています。  
ページ数はホームページ掲載の「貸与奨学生のしおり」（全体版）のページ数を表示しています。

## 奨学生証（16ページ）



「あなたは日本学生支援機構の奨学生です」という証明書

## 返還誓約書（20ページ～43ページ）



※学校が指定する期限までに必ず提出してください。  
※本冊子4ページより記入例等を掲載していますので参考にしてください。  
※返還誓約書に添付する書類は保証制度により異なります。（26ページ）

「日本学生支援機構から奨学金を借り、卒業後は約束どおり返還します」という契約書

## 受け取る書類・提出する書類と時期

実施時期	受け取る書類	提出する書類
奨学生として採用されたとき	「奨学生証」(16 ページ)	「返還誓約書」と添付書類 (20 ～ 43 ページ)
毎年 1 回 (12 月～2月頃)	「貸与額通知」(59 ページ) ※インターネットで確認	「奨学金継続願」(61 ページ) ※インターネット入力
借り終わるとき	「貸与奨学金返還確認票」 (72 ページ)	—

## スカラネット・パーソナル（86ページ）

スカラネット・パーソナルでは、あなたの奨学金に関する情報（奨学金の金額・借りる期間・振込口座等）を確認したり、様々な手続きをしたりすることができます。

「貸与額通知」(59ページ)の確認や「奨学金継続願」(61ページ)の入力も、スカラネット・パーソナルから行います。



<https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/mypage/>

## 奨学金貸与・返還シミュレーション（88ページ）

借りる額などの条件を設定することで、毎月の返還額や返還回数などをシミュレーションできるシステムです。登録などの手続きも必要なく、条件を設定するだけで簡単にシミュレーションできます。



<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>

## 奨学金の受け取り方 (45ページ)

奨学金は、毎月11日にあなた名義の普通預金(貯金)口座に振り込まれます。

※4月は21日、5月は16日

※振込日が土日祝日の場合は、その前営業日に振込み

振り込まれる金額 = (機関保証の方) 奨学生証の「貸与月額」 - 「保証料」  
(17ページの⑤-⑧)  
= (人的保証の方) 奨学生証の「貸与月額」 (19ページの⑤)

- ※ 第一種奨学金と給付奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与月額が減額又は増額(併給調整といいます)されることがあるので注意してください。  
また、給付奨学金が自宅通学の月額の場合、第一種奨学金も自宅通学の月額になります。  
なお、第一種奨学金と給付奨学金を希望して同月に新規採用となる場合や、併給調整後の振込額で精算処理(相殺)ができる場合は、機構にて併給調整を行います。併給調整ができない場合(調整後の月額が0円の場合等)は返金手続きを行っていただく場合があります。

## 借りている間の変更

- 振り込まれる金額に関する変更(増額・減額など) (47ページ)  
※一時的な増額や減額はできません。
- あなたやあなたの奨学金借入れに関する人の登録情報(氏名・住所・振込口座など)の変更 (51ページ、46ページ)
- 奨学金を途中で辞退する場合や、休学・退学などの学籍上の身分変更がある(あった)場合 (52~56ページ)

## 奨学金継続の手続き (毎年12月~2月頃) (61ページ)

「奨学金継続願」(あなたの1年間の収入・支出も報告)の届出をインターネットで入力  
➡ 学校による成績などの審査 ➡ 次の年度の奨学金を借りられるかが決定

※学業成績が不振などの場合は、次の年度の奨学金が受け取れなくなることがあります。(63~65ページ)

## あなたが返還する金額 (74ページ)

返還金は、奨学金を借り終わるときにあなたが指定した口座(振替用口座(リレー口座))から、毎月引き落とされます。

【第一種奨学金の場合】

【第二種奨学金の場合】

第一種奨学金の場合		第二種奨学金の場合		返還総額
機関保証	人的保証	機関保証	人的保証	
保証料(天引き)	あなたに振り込まれた金額	利子	利子	借用総額
あなたに振り込まれた金額		あなたに振り込まれた金額		
借用総額 = 返還総額		借用総額		

## 返還できないとき【救済制度】 (79ページ~81ページ)

- 毎月の返還金額を減額する(減額返還)
- 返還を一時停止して先送りにする(返還期限猶予)
- 在学中の返還を一時停止して先送りにする(在学猶予)

※救済制度を利用した場合も、返還総額は減るわけではなく、変更はありません。

また、返還期間が長くなったからといって返還総額(利子等)が増えることもありません。

**返還が難しい時は、救済制度の利用を検討してください!**

※適用基準あり



# 返還誓約書の記入例①（機関保証） 各自が署名してください。

（第一種奨学金の返還誓約書を例にしています。）

## ① 【奨学金の種類】

あなたが貸与を受ける奨学金の種類が印字されています。

- ・貸与種別  
第一種：無利子  
第二種：有利子
- ・保証区分  
機関保証：保証機関の連帯保証を受ける制度

## ② 【誓約日】

スカラネットで入力した誓約日です。

## 返 還 誓 約 書

（兼個人信用情報の取扱いに関する同意書）

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿  
私は、独立行政法人日本学生支援機構学資貸与金を下記のとおり借用いたします。つきましては、独立行政法人日本学生支援機構貸与奨学規程その他の諸規程によって確認した事項を遵守し、「奨学生のしおり」記載の取扱いにしたがい返還することを誓約します。独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）に提出した個人番号については、裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。また、裏面の「個人信用情報同意条項」を承認し、同意します。なお、私が借用した学資貸与金は、第一種奨学金（無利息）であり、機関保証を選択しました。

令和 XX 年 4 月 1 日

③ 借入金額

¥ 2 4 4 8 0 0 0

## 【奨学生本人の住所】

住所は現在住んでいる住所です。ただし、添付書類欄に「住民票」と印字されている場合は、住民票に記載された住所です。

## ④ 【奨学生本人の署名】

住民票の表記のとおり署名してください。旧字体が表記される場合は、旧字体のまま署名してください。外国籍の方でアルファベットで表記される方はアルファベットで、アルファベットと漢字が併記される場合はアルファベットか漢字のどちらかで署名してください。

奨学生番号	6XX-XX-XXXXXX	CD	7 001	採用種別	予約
在学学校	日本学生支援大学				
住所	〒 135 - 8630 東京都江東区青海 2-2-1				
電話番号	03-XXXX-1111	携帯電話番号	090-XXXX-6666		
氏名	(奨学 太郎) フリガナ シヨウガク タロウ				
署名	<b>奨学 太郎</b>				
誕生年月日	平成 XX 年 11 月 11 日生		性別	男	
貸与期間		貸与月数	貸与月額	貸与額計	
20XX 年 4 月～	20XX 年 3 月	48 月	51000 円	2448000 円	
年 月～	年 月	月 月	円	円	
年 月～	年 月	月 月	円	円	
年 月～	年 月	月 月	円	円	
返還期日		返還回数	初回割賦金	割賦金	最終割賦金
月賦返還 1	毎月27日	180 回	13600 円	13600 円	13600 円
月賦返還 2	月賦返還選択時の総支払い額				2448000 円
併用返還 1	月賦分 毎月27日	*** 回	*** 円	*** 円	*** 円
併用返還 2	半年賦分 毎年1・7月の27日	*** 回	*** 円	*** 円	*** 円
併用返還 3	併用返還選択時の総支払い額				*** 円

注：あなたは、所得連動返還方式を選択しているため、毎年の割賦金はその前年のあなたの所得（あなたが被扶養者の場合、扶養者の所得を合算）に応じ決定されます。上記「返還の条件（目安）」に記載の内容は「借入金額」欄記載金額から算出された割賦金であり、あなた等の所得が把握できない場合に適用されます。

【重要】 1. 個人番号の提出がない場合、所得連動返還方式の適用を受けられません。  
2. 所得連動返還方式は、本返還誓約書で選択してください。

## ③ 【借入金額】

- ・現在の貸与月額で予定の貸与終期まで貸与を受ける場合の借用総額です。
- ・第一種奨学金が併給調整されている場合の借用金額は、申込時の希望月額で予定の貸与終期まで貸与を受ける場合の借用総額です。ただし、奨学生証に印字されている併給調整後の貸与月額が申込時の希望月額を上回る場合は、併給調整後の貸与月額により算出されています。

## ⑤ 【返還の条件】

「月賦返還 1」または「併用返還 2」のいずれかのボックスに✓を記入してください。

月賦返還 1	毎月27日	<input checked="" type="checkbox"/>
併用返還 2	月賦返還選択時の総支払い額	<input checked="" type="checkbox"/>
併用返還 1	月賦分 毎月27日	<input type="checkbox"/>
併用返還 3	半年賦分 毎年1・7月の27日	<input type="checkbox"/>

※返還の方法は、本返還誓約書で選択してください。「奨学生のしおり」に記載してあります。併用返還は、奨学金の貸与を受けていた期間のこの利用目的の適正な範囲内におよびますが、その他の目的には利用できません。行政機関及び公益法人等が

# 押印は不要です。

※第一種奨学金において、下には「定額返還方式（貸与額に応じた返還回数で算出された割賦金で返還する方式）」又は「所得連動返還方式（機構が所得に連動して算出した割賦金で返還する方式）」のうちから、あなたが選択した返還方式が印字されています。

※第二種奨学金においては、全て貸与額に応じた返還回数で算出された割賦金で返還する方式による返還となります。

〔所得連動返還方式（猶予年限特例）〕 ※裏面（項番22）参照

※本人が未成年者（18歳未満）の場合には、親権者が返還誓約書の記載内容及び機構の諸規程を確認し、同意のうえ、特定の欄にそれぞれ署名してください。親権者とは、民法に定められた親権者のことです。親権者がいない場合には、未成年後見人が同様に署名してください。

本人以外の連絡先	住所 〒 153 - 8503 東京都目黒区駒場 4-5-29	
	電話番号 03-XXXX-3333 氏名 (機構 次郎)	携帯電話番号 090-XXXX-7777 フリガナ キョウジロウ
6	署名 <b>機構 次郎</b>	印不要
7	続柄 おじ	昭和 XX 年 10 月 1 日生 ***
	勤務先	電話番号 ***** *****記入不要*****
***	住所 〒 -	***
***	電話番号 *****	携帯電話番号 *****
***	氏名 ***** 署名 *****	フリガナ *****
	続柄	** 年 ** 月 ** 日生 ***
	勤務先	電話番号 *****
***	住所 〒 -	***
***	電話番号 *****	携帯電話番号 *****
***	氏名 ***** 署名 *****	フリガナ *****
	続柄	** 年 ** 月 ** 日生 ***
***	住所 〒 -	***
***	電話番号 *****	携帯電話番号 *****
***	氏名 ***** 署名 *****	フリガナ *****
8	続柄	** 年 ** 月 * !

【提出用】

## 6 【本人以外の連絡先の署名】

本人以外の連絡先に選任された人物が署名してください。

## 7 【続柄】

「その他（）」と印字されている場合は（）の中にあなたとの具体的な続柄を記入してください。

## 【親権者の署名】

あなたが未成年の場合は親権者欄が印字されるため、親権者（または未成年後見人）が署名してください。

添付書類  
・「保証依頼書（兼保証委託契約書）・保証料支払依頼書」（コピー不可）

## 8 【添付書類】

必要な添付書類が印字されています。添付漏れがないようによく確認してください。  
申込時に奨学生本人のマイナンバーが未提出の場合は、「住民票」と印字されており添付が必要です。

## 【記入上の注意】

- ・ 黒又は青のボールペンを使って各自が署名・記入してください。（消せるボールペンの使用は不可）
- ・ 記入を誤った場合の訂正方法は本冊子の「返還誓約書の署名・押印・印字の訂正方法」（11 ページ）を参照して下さい。

104900  
00  
2006  
123456  
20XX  
0000

# 返還誓約書の記入例②（人的保証）各自が署名等してください。

（第二種奨学金の返還誓約書を例にしています。）

## ① 【奨学金の種類】

あなたが貸与を受ける奨学金の種類が印字されています。

- ・貸与種別  
第一種：無利子  
第二種：有利子
- ・保証区分  
人的保証：連帯保証人及び保証人の保証を受ける制度

## 【奨学生本人の住所】

住所は現在住んでいる住所です。ただし、添付書類欄に「住民票」と印字されている場合は、住民票に記載された住所です。

## ④ 【奨学生本人の署名】

住民票の表記のとおり署名してください。旧字体が表記される場合は、旧字体のまま署名してください。外国籍の方でアルファベットで表記される方はアルファベットで、アルファベットと漢字が併記される場合はアルファベットか漢字のどちらかで署名してください。

## ⑤ 【返還の条件】

「月賦返還1」または「併用返還2」のいずれかのボックスに✓を記入してください。

## ② 【誓約日】

スカラネットで入力した誓約日です。

## ③ 【借用金額】

現在の貸与月額で予定の貸与終期まで貸与を受ける場合の借用総額です。

## 返 還 誓 約 書

（兼個人信用情報の取扱いに関する同意書）

より借用いたします。程その他の諸規程によってご返還することを誓約し提出した個人番号について。また、裏面の「個人信用貸与金は、

第二種奨学金（利息付）であり、人的保証を選択しました。家計支持者として個人番号を提出している連帯保証人は、裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。

令和 XX 年 4 月 1 日

借用金額 ¥ 2 4 0 0 0 0 0

奨学生番号	8XX-XX-XXXXXX	CD	7 001	採用種別	予約					
在学学校	日本学生支援大学									
住所	〒 135 - 8630 東京都江東区青海 2-2-1									
電話番号	03-XXXX-1111	携帯電話番号	090-XXXX-6666							
氏名	(奨学 太郎) フリガナヨウカク タロウ									
署名	奨学 太郎									
出生年月日	平成 XX 年 11 月 11 日生		性別	男						
貸与の条件	貸与期間	20XX 年 4 月 ~ 20XX 年 3 月	貸与月数	48 月	貸与月額	50000 円	貸与額計	2400000 円		
	年 月 ~ 年 月	年 月 ~ 年 月	月 月	月 月	円	円	円			
	年 月 ~ 年 月	年 月 ~ 年 月	月 月	月 月	円	円	円			
	年 月 ~ 年 月	年 月 ~ 年 月	月 月	月 月	円	円	円			
返還の条件	返還期日	毎月27日	返還回数	180 回	初回割賦金	16769 円	割賦金	16769 円	最終割賦金	16917 円
	月賦返還	1	月賦返還選択時の総支払い額(利子込み)	3018568 円						
	併用返還	2	併用返還選択時の総支払い額(利子込み)	3019908 円						
月賦分	毎月27日	180 回	8384 円	8384 円	8516 円	50355 円	50355 円	50361 円	3019908 円	
半年賦分	毎年1・7月の27日	30 回	50355 円	50355 円	50361 円					

選択された利率の算定方法：利率見直し方式（おおむね5年ごとに見直されます。）  
注：利率が未確定なため、返還の条件（目安）は、上限利率の年3.0%（増額貸与部分は、年3.2%）で仮計算しています。確定した年利率で計算した内容については、貸与終了時に送付される通知でご確認ください。

【参考】令和4年11月貸与終了者に実際に適用された利率（年0.077%、増額貸与部分は年0.277%）で計算した場合の返還例（※この利率があなたに適用されるわけではありません）

返還期日	返還回数	初回割賦金	割賦金	最終割賦金
月賦返還 毎月27日	180 回	13415 円	13415 円	13495 円
月賦返還 月賦返還選択時の総支払い額(利子込み)				2414780 円
併用返還 月賦分 毎月27日	180 回	6707 円	6707 円	6796 円
併用返還 半年賦分 毎年1・7月の27日	30 回	40248 円	40248 円	40267 円
併用返還 併用返還選択時の総支払い額(利子込み)				2414808 円

※返還の方法は、本返還誓約書で選択された「月賦返還」又は「月賦・半年賦併用返還」とします。但し、右上印字の返還方式が「所得連動返還方式」の場合は、「月賦・半年賦併用返還」は選択できません。割賦金額等は予定であり、確定した金額は、貸与終了後に通知するものとします。返還回数と割賦金額の計算方法は、「奨学生のしおり」に記載してあります。

※給付奨学金の支援対象者が第一種奨学金の貸与を受ける際の借用金額については、裏面【返還誓約書記載事項について】の3を参照してください。

※人的保証とは連帯保証人及び保証人による保証を受ける制度、機関保証とは保証機関による保証を受ける制度をいいます。

※機構は、奨学金の貸与を受けている者が奨学生としての身分を失った際には、「借用金額」とすでに貸与した奨学金の差額を貸与する義務を負わないものとします。

※記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務（返還業務を含む。）のために利用されます。

用目的の適正な範囲内ですが、その他の目的には行政機関及び公益法

※この欄には参考として過去に実際に適用された利率で計算した場合の返還例が印字されています。

必要に応じて提供に提供されます。されます。

※第一種奨学金において、下には「定額返還方式（貸与額に応じた返還回数で算出された割賦金で返還する方式）」又は「所得連動返還方式（機構が所得に連動して算出した割賦金で返還する方式）」のうちから、あなたが選択した返還方式が印字されています。  
 ※第二種奨学金においては、全て貸与額に応じた返還回数で算出された割賦金で返還する方式による返還となります。

※本人が未成年者（18歳未満）の場合には、親権者が返還誓約書の記載内容及び機構の諸規程を確認し、同意のうえ、所定の欄にそれぞれ署名してください。  
 親権者とは、民法に定められた親権者のことです。親権者がいない場合には、未成年後見人が同様に署名してください。

連帯保証人	住所 〒 162 - 8431 東京都新宿区市谷本村町 10-7	電話番号 03-XXXX-0000	携帯電話番号 090-XXXX-9999	実印 一奨学
	氏名 (奨学 一郎) 署名 <b>奨学 一郎</b>	フリガナ ショウガク イチロウ		
保証人	住所 〒 153 - 8503 東京都目黒区駒場 4-5-29	電話番号 03-XXXX-9999	携帯電話番号 090-XXXX-1234	実印 五奨学
	氏名 (奨学 五郎) 署名 <b>奨学 五郎</b>	フリガナ ショウガク ゴロウ		
***	住所 〒 -	電話番号 *****	携帯電話番号 *****	***
***	氏名 ***** 署名 *****	フリガナ *****		***
***	続柄 *****	** 年 ** 月 ** 日生		***
***	住所 〒 -	電話番号 *****	携帯電話番号 *****	***
***	氏名 ***** 署名 *****	フリガナ *****		***
8	続柄 *****	** 年 ** 月 ** 日生		***

**⑥ 【連帯保証人・保証人の署名・押印】**  
 選任された人が署名し、実印で押印してください。

**⑦ 【続柄】**  
 「その他（）」と印字されている場合は（）の中にあなたとの具体的な続柄を記入してください。

**【親権者(2)の署名】**  
 あなたが未成年の場合は、親権者欄（2）が印字されるため、連帯保証人を兼ねている親権者(1)以外の親権者が署名してください。

**添付書類**

- ・連帯保証人の「印鑑登録証明書」（市区町村発行、コピー不可）
- ・連帯保証人の「収入に関する証明書類」（コピー可）（例：源泉徴収票、市区町村発行の所得証明）
- ・保証人の「印鑑登録証明書」（市区町村発行、コピー不可）
- ・保証人の「返還保証書」（コピー不可）及び「資産等に関する証明書類」（コピー可）

**⑧ 【添付書類】**  
 必要な添付書類が印字されています。添付漏れがないようによく確認してください。申込時に奨学生本人のマイナンバーが未提出の場合は、「住民票」と印字されており添付が必要です。

**【記入上の注意】**

- ・黒又は青のボールペンを使って各自が署名・記入してください。（消せるボールペンの使用は不可）
- ・記入を誤った場合の訂正方法は本冊子の「返還誓約書の署名・押印・印字の訂正方法」（11ページ）を参照してください。

※「借入金総月まで借金額」は場合があ



# 添付書類について

## ○返還誓約書に添付が必要な書類（併用貸与の場合は、それぞれの返還誓約書に書類を添付する必要があります。）

保証の種類	添付書類
機関保証	1. 「保証依頼書（兼保証委託契約書）・保証料支払依頼書（機構・協会用）」 ⇒記入方法については本冊子の『保証依頼書の記入例』（9ページ）を参照してください。 ※添付が必要な人のみ市区町村で発行された奨学生本人の「住民票」（コピー不可、マイナンバーの記載のないもの）
人的保証	1. 連帯保証人の「印鑑登録証明書」（市区町村で発行されたもの、コピー不可、返還誓約書に印字された誓約日から3か月前以降に発行されたもの） 2. 連帯保証人の「収入に関する証明書」（1年間の収入が分かるもの、マイナンバーの記載のないもの、コピー可） ⇒下表参照 3. 保証人の「印鑑登録証明書」（市区町村で発行されたもの、コピー不可、返還誓約書に印字された誓約日から3か月前以降に発行されたもの） ※添付が必要な人のみ市区町村で発行された奨学生本人（あなた）の「住民票」（コピー不可、マイナンバーの記載のないもの） ※連帯保証人・保証人に4親等以内の親族でない人を選んだ場合や保証人に65歳以上の人を選んだ場合は、上記書類の他に「返還保証書」と資産等に関する証明書類を提出してください。 ⇒本冊子の『返還保証書（様式13）の記入例』（10ページ）を参照してください。 ただし、あなた（奨学生本人）が未成年の場合の連帯保証人は、親権者または未成年後見人である必要があります。

## ○連帯保証人の収入に関する証明書（提出時において最新の一年間の収入が分かる証明書類、コピー可）

収入の状態・状況	証明書類	発行所
給与所得又は給与所得以外	所得証明書	市区町村の役場
給与所得（給料・賃金・役員報酬等）	源泉徴収票	勤務先
給与所得以外（自営業等）	確定申告書（控）〔税務署の受付印があるもの〕 ※電子申告を行った場合は、「確定申告書B」に「受付結果（受信通知：「メール詳細画面）」または「即時通知」を添付	税務署
確定申告書（控）の提出が出来ない場合	納税証明書（その2）	税務署
年金（恩給・老齢年金・遺族年金等）	年金振込通知書 又は 年金額改定通知書	日本年金機構等
前年途中・当年に就職した場合	年収見込証明書	勤務先
生活保護受給者	保護決定（変更）通知	福祉事務所
上記の書類が提出出来ない場合	課税証明書 非課税証明書	市区町村の役場



# 保証依頼書の記入例

(機関保証選択者は全員提出のうえ返還誓約書への添付が必要です)



## 【署名・記入】

返還誓約書に印字された日付時点であなたが**成年の場合**、保証依頼書(兼保証委託契約書)・保証料支払依頼書(一枚目)には、あなたの署名・記入が必要です。

※返還誓約書に印字されている日付時点であなたが**未成年の場合**は、未成年者用の保証依頼書を使用のうえ、あなたと親権者(未成年後見人)の署名・記入が必要です。

### ① 【奨学生番号】

返還誓約書の奨学生番号を記入してください。

### ② 【本人欄(2か所)】

あなた(奨学生本人)が署名・記入してください。

### ③ 【奨学生本人欄住所】

あなたが現在住んでいる住所を記入してください。

### 【親権者同意書】(未成年者用)

あなた(奨学生本人)が未成年の場合には、親権者(父及び母)がそれぞれ(いずれかがいない場合は一人)署名・記入してください。未成年後見人の場合は、未成年後見人が署名・記入してください。

【成年者用】

(機構・協会用)

① 保証依頼書(兼保証委託契約書)

公益財団法人  
日本国際教育支援協会理事長 殿

④ 申込日 令和 X 年 4 月 1 日

私は、独立行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という。)の奨学金の貸与を申し込むに当たり、機構に対するインターネットによる奨学金申込みの内容及び奨学金申込み書の記載内容並びに保証書の記載内容により申込みをする奨学金の貸与(返還)について保証することを前記保証の保証委託契約に同意し、以下の確認事項を確認したうえで、公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「協会」という。)に委託します。

また、本依頼書の記載事項が虚偽の内容によるものであった場合、機関保証への加入が無効となっても異議はありません。

【確認事項】

- ・奨学金は、私本人が自分の意思と責任により申込みを行い、毎月の貸与額は、真に必要な額を選択している。
- ・奨学金は責任を持って返還する必要がある(保証料を支払うことで返還が免除されることはない)。
- ・奨学金の返還が困難な場合、教養制度(減額返還、返還助済)がある。
- ・奨学金の返還を一定期間延滞した場合、私の代わりに協会が債権に対し返済する(これを代位弁済という)、その後私は協会に対しその分を返済しなければならない。
- ・代位弁済が行われるとその情報が個人信用情報機関に登録され、延滞情報が登録された時と比べクレジットカードや住宅ローン等の利用に、より厳しい制約を受けることがある。

本	学校名	学専課程/分専	学科/専攻/研究科	奨学生番号
	日本学生支援大学	経済	経済	6XXXXXXXXXXXX
人	フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
(自	氏名	氏名	氏名	氏名
意)	奨学太郎	奨学太郎	奨学太郎	奨学太郎
書	〒	〒	〒	〒
	135-8630	135-8630	135-8630	135-8630
	東京都江東区青海2-2-1	東京都江東区青海2-2-1	東京都江東区青海2-2-1	東京都江東区青海2-2-1

② 保証料支払依頼書

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿  
公益財団法人 日本国際教育支援協会理事長 殿

④ 依頼日 令和 X 年 4 月 1 日

上記保証依頼書による保証委託契約に基づいて、私が公益財団法人日本国際教育支援協会に支払うべき保証料については、奨学金の交付の際に貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構があらかじめ差し引いて支払うこととしてください。

本人(自意)欄に署名・記入してください。

② 奨学太郎

【未成年者用】

未成年者用はこの部分に親権者同意書が設けられています。

(学校使用権)

学校番号 区分

10490000

(機構・協会用) (2023.04)

※ 様式は作成日時点のものです。

### ④ 【日付】

返還誓約書に印字された日付(スカラネットで入力した誓約日)を記入してください。

○上段「申込日」  
○中段「依頼日」 } あなたが記入してください。

### ※日付の修正が必要な場合

○上段「申込日」  
○中段「依頼日」 } あなたが記入してください。  
訂正する場合は訂正部分を二重線で削除してください。

#### 【訂正例】

申込日 令和 X 年 ~~5~~<sup>4</sup>月 ~~9~~<sup>1</sup>日  
(返還誓約書に印字された日付を記入)

依頼日 令和 X 年 ~~5~~<sup>4</sup>月 ~~9~~<sup>1</sup>日  
(返還誓約書に印字された日付を記入)

### 【奨学生本人が未成年の場合】

親権者(後見人)同意書の「同意日」:親権者(または未成年後見人)が記入してください。

訂正する場合は訂正部分を二重線で削除してください。

#### 【訂正例】

同意日 令和 X 年 ~~5~~<sup>4</sup>月 ~~9~~<sup>1</sup>日  
(返還誓約書に印字された日付を記入)

# 返還保証書（様式13）の記入例（人的保証選択者）

この様式は、連帯保証人・保証人に4親等以内の親族でない人を選んだ場合や保証人に65歳以上の人を選んだ場合に、貸与予定総額（保証人は貸与予定総額の2分の1）の返還を確実に保証できる資力を有することを証明する「資産等に関する証明書類」を添付して提出する必要があります。必要な資力を有すると認められる基準については以下④をご参照ください。ただし、あなた（奨学生本人）が未成年の場合の連帯保証人は、親権者または未成年後見人であることが条件となります。

※この様式は本機構ホームページ掲載の「貸与奨学生のしおり」からダウンロードするか、学校に申し出て学校から受け取ってください。

## ① 【日付】

返還誓約書に印字された日付（スカラネットで入力した誓約日）を記入してください。

## ② 【当該人物欄】

当該人物（連帯保証人または保証人）が署名し、実印を押印してください。「生年月日」と「奨学生本人との関係」が返還誓約書と一致するように記入してください。

## ③ 【奨学生本人情報欄】

当該人物（連帯保証人または保証人）があなた（奨学生本人）の氏名、奨学生番号、生年月日を記入してください。

**当該人物（連帯保証人または保証人）がすべての項目を記入してください。**

【様式13】  
連帯保証人・保証人に4親等以内の親族でない人を選んだ場合や保証人に65歳以上の人を選んだ場合に提出する必要があります。  
(当該人物が①～④の点を確認のうえ、すべての項目を記入)

610～・810～

### 返 還 保 証 書

令和XX年 4 月 1 日

私は、1. の「奨学生本人」が借用する、2. の「奨学生番号」の独立行政法人日本学生支援機構奨学金について、借用（返還）金額・返還回数・滞賦金等（貸与中はすべて予定）を確認のうえ、4. の現在の資産等の状況に記載する資力をもって、返還予定の期間を通じて生活を維持し、「奨学生本人」が行う学資金の返還（保証人は奨学生本人が返還すべき返還予定総額の2分の1）を確実に保証します。

氏 名 **奨学 五郎** (② 当該人物の署名押印、印は裏印)

生年月日 **昭和XX年 4 月 25 日** 生 (② 当該人物の生年月日を記入)

奨学生本人との関係 **祖父** (② 継続併記人)

1. 奨学生氏名	2. 奨学生番号	3. 奨学生生年月日
<b>奨学 太郎</b>	<b>8XX - XX - XXXXXX</b>	<b>平成 XX 年 11 月 11 日</b>
(③ 奨学生本人の氏名を記入)	(③ 奨学生番号を記入)	(③ 奨学生本人の生年月日を記入)

4. 現在の資産等の状況 (④ 現在の資産等の状況が以下のⅠ～Ⅲのいずれかの基準を満たすことを示す証明書類を添付のうえ「金額」欄に記入)

区 分	金 額	認定基準額 及び 証明書類 (すべてコピー可)
Ⅰ 給与所得者の場合 ※年間収入金額で判定	320万円 (※120万円未満は切り捨て)	年間収入金額が220万円以上 ・源泉徴収票(直近のもの) ・所得証明書(直近のもの) ・年金振込通知書、年金振込決定通知書(支払金額のわかるもの、直近のもの)等
		給与所得者以外の場合 (給与所得以外+給与所得の方も含む) ※年間所得金額で判定
Ⅱ 預貯金や不動産などの資産を有している場合 ※合計額で判定	万円	預貯金・不動産(評価額)等の合計額が貸与予定総額(返還総額)(保証人は貸与予定総額(返還総額)の2分の1)以上 ・預貯金残高証明書 ・固定資産評価証明書(評価額のわかるもの) ・取引残高報告書(評価額のわかるもの) 等 ※返還誓約書に印字された日付の3か月前以降に発行されたもの、変更届に届行する場合は、変更届記入日の3か月前以降に発行されたもの ※貸与が知有金銭の場合は、貸与割合等により貸与予定総額の資産額が確認できるもの(登記事項証明書(法務局で取得)など)
Ⅲ ⅠとⅡを組み合わせた場合	万円	Ⅰの金額+(Ⅱの金額×1/6) ≥ (給与所得者の場合)320万円以上 (給与所得者以外の場合)220万円以上 ・金額を積算するすべての証明書

※年金は給与として扱います。  
※いずれかの基準を満たしていれば、資産等のすべてを記入する必要はありません(例えば、給与収入額が基準を満たしていれば、預貯金があってもそれを記入する必要はありません)。

① 記入した日付の情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の範囲内において、借受奨学生等の返還状況に関する情報を貸与、学校、金融機関(貸与業務のために必要に応じて借受者の場合)、その他関係者には提供いたします。また、行政機関(貸与業務に必要に応じて借受者の場合)等に提供される場合は、借受者の同意を前提として提供いたします。

## ④ 資産等の状況が以下Ⅰ～Ⅲのいずれかの基準を満たすことを証明する証明書類の添付が必要です。

### Ⅰ 年間収入・所得で判定

- 給与所得者  
年間収入 320万円以上  
(証明書：源泉徴収票、年金振込通知等)
- 給与所得者以外  
年間所得 220万円以上  
(証明書：確定申告書(控) (受付印のあるもの) 等)

### Ⅱ 預貯金・不動産評価額等で判定

合計額が貸与予定総額（返還誓約書に印字されている金額）（保証人は貸与予定総額の2分の1）以上  
(証明書：預貯金残高証明書、固定資産評価証明書(評価額のわかるもの) 等)

### Ⅲ 上記ⅠとⅡの組み合わせで判定

Ⅰ + (Ⅱ ÷ 1.6) で算出される金額が  
(給与所得者の場合) 320万円以上  
(給与所得者以外の場合) 220万円以上

※年金は給与として扱います  
※給与所得以外 + 給与所得の方の判定基準は年間所得220万円です

# 返還誓約書の署名・押印・印字の訂正方法

## ① 【印字・署名の訂正・印字された人を変更する場合】

・二重線で削除し、変更（訂正）した人が押印欄に押印した実印を訂正印として二重線の上に押印してください。

※奨学生本人、親権者（2）、本人以外の連絡先は訂正印不要です。

・印字：直近の余白に正しい情報を記入してください。

・署名：署名可能な欄内に再度署名してください。

署名欄の直近の余白から優先的に使用してください。

(① > ② > ③)

借入金額	¥	2	4	4	8	0	0	0
------	---	---	---	---	---	---	---	---

617940 073 002  
21100955XA0000

奨学生本人

奨学生番号 6XX-XX-XXXXXX CD 7 001 採用種別 予約  
 在学校 日本学生支援大学  
 住所 〒 135 - 8630  
 東京都江東区青海 2-2-1  
 電話番号 03-XXXX-1111 携帯電話番号 090-XXXX-6666  
 氏名 (奨学 太郎) 市谷 太郎 フリガナ ショウガ タロウ  
 署名 市谷 太郎  
 平成 XX 年 11 月 11 日生 性別 男

## ③ 【あなた（奨学生本人）の改氏名】

- ・印字された氏名・フリガナを二重線で削除し、直近の余白に正しい氏名・フリガナを記入してください。
- ・改氏名後（訂正後）の氏名で署名してください。
- ・学校に申し出て「改氏名届」（様式3）を学校から受け取り、記入後に学校に提出してください。

※改氏名・フリガナ訂正は、届出の金融機関で振込口座の改氏名・訂正の手続きも必要になり、同時に行わない場合は氏名不一致で振込ができない場合があるので注意してください。

貸与額計	2448000	円
金	800	円
最終割賦金	13600	円
	2448000	円
	800	円
	800	円
	40800	円
	2448000	円
最終割賦金	***	円

## ② 【連帯保証人・保証人の押印（実印）の訂正】

二重線で削除し、その直近かつ当該者欄内に押印（実印）してください。

〔定額返還方式（猶予年限特例）〕※裏面（項番2.2）参照

※本人が未成年者（18歳未満）の場合には、親権者が返還誓約書の記載内容及び機構の諸規程を確認し、同意のうえ、返還誓約書に署名してください。親権者がいない場合には、未成年後見人が署名してください。

① 印字  
② 署名  
③ 押印

連帯保証人  
住所 〒 162 - 8491  
東京都新宿区市谷本村町 1-0-7  
神奈川 神奈川県横浜市緑区長津田町4259  
電話番号 03-XXXX-0000 携帯電話番号 090-XXXX-9999  
氏名 (奨学 一郎) 獎学 一郎 フリガナ ショウガ イチロウ  
署名 獎学 一郎  
住所 〒 153 - 8503  
東京都目黒区駒場 4-5-29  
電話番号 03-XXXX-9999 携帯電話番号 090-XXXX-8888  
氏名 (機構 明子) 機構 明子 フリガナ キョウ アキコ  
署名 機構 明子  
住所 〒 153 - 8503  
東京都目黒区駒場 4-5-29  
電話番号 03-XXXX-9999 携帯電話番号 090-XXXX-8888  
氏名 (機構 明子) 機構 明子 フリガナ キョウ アキコ  
署名 機構 明子  
住所 〒 153 - 8503  
東京都目黒区駒場 4-5-29  
電話番号 03-XXXX-9999 携帯電話番号 090-XXXX-8888  
氏名 (機構 明子) 機構 明子 フリガナ キョウ アキコ  
署名 機構 明子

【修正時の注意】

- ・紙貼り。修正液、字消し等を使用しての修正は不可です。
- ・なぞり書きは不可です。

【連帯保証人・保証人の押印（実印）の訂正不備】

- ・押し直した印と前の印が重なっていると不可です。
- ・押し直した印に二重線がかかっていると不可です。

【印字・署名の訂正不備】

- ・【連帯保証人・保証人】訂正印相違は不可です（訂正した人の実印で訂正してください）。
- ・印字、署名の一部訂正は不可です（署名の訂正は、全て訂正してください）。

正) 【本人、親権者、本人以外の連絡先】  
~~機構 一郎~~  
 機構 明子

正) 【連帯保証人・保証人】  
~~機構 一郎~~  
 機構 明子

返還誓約書の印字内容に訂正・追加がある場合は、返還誓約書に直接書き込んだうえで、「返還誓約書記載事項訂正届」（様式25-1、様式25-2）を添付してください。

⇒ 1 2 ページの「返還誓約書記載事項訂正届」（様式25-1、様式25-2）の記入例を参照してください。

例) 保証人勤務先電話番号の入力漏れ  
 → 空白部分に直接記入 → 「返還誓約書記載事項訂正届」（様式25-1、様式25-2）を記入し、添付。



# 返還誓約書記載事項訂正届（様式25-1、様式25-2）の記入例

この様式は返還誓約書に印字された情報を訂正または新規追加する場合に必要となります。

※あなた（奨学生本人）の氏名・生年月日の訂正は、他にも必要な手続きがありますので、必ず学校に申し出てください。

※この用紙は学校に申し出て、学校から受け取ってください。

※返還誓約書に印字された誓約日の時点で奨学生本人が未成年の場合は、未成年者用の様式25-2を使用してください。

## ①【奨学生本人欄】

様式の二重枠線枠内の日付・奨学生番号・奨学生本人の氏名及びフリガナは必ず記入してください。

※奨学生本人欄の訂正はなく、本人以外の他の者（連帯保証人等）のみを訂正する場合でも、本人欄の「日付」「奨学生番号」「氏名」「フリガナ」は必ず記入してください（本人欄の他の項目は記入しないでください）。

## 【氏名】

氏名欄にアルファベットは記入不可です。  
カタカナ表記で記入してください。

様式25-1 返還誓約書記載事項訂正届(成年者用) ※未成年者は様式25-2を使用してください。 610～、810～

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿 「返還誓約書」を提出するにあたり、「返還誓約書」上で訂正(変更)又は新規に追加した内容を届け出ます。

返還誓約書に印字された日付	令和 XX 年 4 月 1 日	奨学生番号	6 X X X - X X X - X X X X X X X	学籍番号	
住所 下記 ※①参照		電話番号		携帯番号	
フリガナ	ショウガク タロウ	生年月日	S・H 年 月 日	※奨学生本人の氏名・フリガナ・生年月日の訂正(変更)には別途手続きが必要です。学校窓口へ申し出てください。 ※返還誓約書の本人欄の訂正はなく、本人以外の他の者(連帯保証人等)のみの訂正が必要な場合は、二重枠線内の「日付」「奨学生番号」「フリガナ」「氏名」のみの記入が必要です。この場合本人欄の他の項目は記入しないでください。 ※返還誓約書の本人欄について一部でも訂正がある場合は、この欄は全項目への記入が必要です。	
氏名	奨学 太郎	訂正(変更)・新規追加がある場合は該当に○印を付けてください。			
返還誓約書上で訂正(変更)・新規追加がある場合は該当に○印を付けてください。					
返還誓約書に印字された日付	令和 XX 年 4 月 1 日	奨学生番号	6 X X X - X X X - X X X X X X X	学籍番号	123456
住所 下記 ※①参照	〒 135 - 8630 東京 江東区青海 2-2-2	電話番号	03 - 1111 - 1111	携帯番号	090 - 0000 - 0000
フリガナ	ショウガク タロウ	生年月日	S・H XX 年 11 月 11 日	※奨学生本人の氏名・フリガナ・生年月日の訂正(変更)には別途手続きが必要です。学校窓口へ申し出てください。 ※返還誓約書の本人欄の訂正はなく、本人以外の他の者(連帯保証人等)のみの訂正が必要な場合は、二重枠線内の「日付」「奨学生番号」「フリガナ」「氏名」のみの記入が必要です。この場合本人欄の他の項目は記入しないでください。 ※返還誓約書の本人欄について一部でも訂正がある場合は、この欄は全項目への記入が必要です。	
氏名	奨学 太郎	訂正(変更)・新規追加がある場合は該当に○印を付けてください。	郵便番号 住所 電話番号・携帯番号		
返還誓約書上で訂正(変更)・新規追加がある場合は該当に○印を付けてください。					
返還誓約書に印字された日付	令和 XX 年 1 月 1 日	奨学生番号	6 X X X - X X X - X X X X X X X	学籍番号	
住所 下記 ※①参照	〒 162 - 8431 東京 新宿区市谷本村町 10-7	電話番号	03 - 0000 - 0000	携帯番号	090 - 0000 - 9999
フリガナ	ショウガク イチロウ	生年月日	S・H XX 年 1 月 1 日	※奨学生本人以外でなければなりません。	
氏名	奨学 一郎	続柄	父	続柄コード	1 / 1
返還誓約書上で訂正(変更)・新規追加がある場合は該当に○印を付けてください。	訂正(変更)事由 保証変更をするため ※続柄コードについては要参照のこと				

※①2020年度以降採用者は現住所(2019年度以前採用者は住民票に記載の住所)です。ただし、マイナンバー未提出者は住民票に記載の住所です。  
※この届出用紙は本人入学の年における返還誓約書記載事項訂正届を兼ねます。  
※この届出用紙の写し(コピー)はご自分でご用意ください。学校へ提出後、日本学生支援機構からはこの届出用紙の写しを発行しません。  
この記入した情報及びあなた自身の返還誓約書に関する情報は、帰国学生支援機構(返還誓約書)及び関係する学校での返還誓約書管理のために利用されます。この利用目的は返還誓約書に明記されています。また、学校、帰国機構、文部科学省及び関係機関に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。帰国機構加入者については、帰国機構が保有する個人情報のうち返還誓約書に必要となる情報は返還誓約書に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から返還誓約書の取組のために提供を受けた場合は、返還誓約書においてあなたからの提供が提供されます。

## ②【奨学生本人欄】

奨学生本人欄について一部でも訂正がある場合は、様式の太線枠内の本人欄は、全ての項目を記入してください。

## 【訂正が必要な当該人物欄】

返還誓約書上で訂正又は新規追加のあった人が該当する欄について必要事項をすべて記載してください。(記載した情報が機構に登録されます。)

「電話番号」等の記入漏れに注意してください。(固定電話を持っていない場合は未記入で構いません)。

未成年者用の様式25-2は最下部に親権者1、親権者2の欄があります。

親権者1	現住所		電話番号	
	フリガナ			
	氏名			
親権者2	現住所		電話番号	
	フリガナ			
	氏名			
	訂正(変更)事由			

**各自の署名、連帯保証人・保証人の押印は返還誓約書上で修正してください。(本冊子11ページ)**